

平成31年度 医療法人アレックス

理学療法士

新規募集案内

佐久平整形外科クリニック

〒385-0022 長野県佐久市岩村田1311-7

上田整形外科クリニック

〒386-0018 長野県上田市常田2-15-16

都立大整形外科クリニック

〒152-0032 東京都目黒区平町1-26-3 2F

アレックス脊椎クリニック

〒158-0082 東京都世田谷区等々力4-13-1

明大前整形外科クリニック

〒156-0043 東京都世田谷区松原1-38-25

長野整形外科クリニック

〒381-0043 長野県長野市吉田5-26-23

AR-Ex尾山台整形外科

〒158-0082 東京都世田谷区等々力4-13-1

さいたま整形外科クリニック

〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町1-35 大塚ビル3F



医療法人アレックス
理事長 林 英俊

理学療法士の皆さんへ

AR-Ex Medical Group は関節鏡視下手術、リハビリテーション、運動療法に特化した「スポーツ整形外科専門医療グループ」です。スポーツ外傷・関節疾患を治療する上で、最も重要と考える3つの治療分野（関節鏡視下手術：Arthroscopy、リハビリテーション：Rehabilitation、運動療法：Exercise）の専門スタッフがチームとなって外来から入院、そして復帰までと安心できる環境を整備し、完全サポートします。職員も探求心、高い意欲を持って日々の臨床を行っており、それを支える先輩職員も多くいます。

私たちの考えや活動に共感していただければ幸いです。患者さんや選手のために日々研鑽し、理学療法士としての地位（Status）の構築をしていきましょう。

チームドクターとしてサポートしている選手・チーム

- ・読売ジャイアンツチームドクター
- ・KONAMI 体操部チームドクター
- ・内村航平専任メディカルサポートドクター
- ・早稲田大学野球部チームドクター

グループの取り組み

臨床

- ・各施設を繋げての医師との術前オンラインカンファレンスの実施（毎週）
- ・H30 年度年間手術件数 724 件
主な手術：膝前十字靭帯（ACL）再建術（2017 年東京都の前十字靭帯再建術件数第 3 位）、膝半月板縫合・部分切除術肩腱板修復術（ARCR）、肩関節脱臼修復術（Bankart）、腰椎椎間板ヘルニア摘出術（PED）、足靭帯縫合術、股関節唇形成術、肘離断性骨軟骨炎・軟骨移植術
- ・工藤慎太郎先生（森ノ宮医療大学）、成田崇矢先生（健康科学大学）による臨床指導
- ・各施設の教育・研究リーダー（横ラインメンバー）による臨床教育
※縦ライン：所属する施設の院長・副院長・医師・管理職・一般職員からなる施設毎の診療業務の体制
※横ライン：各施設から選出されたメンバーで構成され、最新・最高の治療提供をコンセプトに活動する

研究

- ・職員全員が集まって行う院内学会（アレックス学会）の開催（年 1 回）
- ・研修制度（年間予算 1000 万円超）を使用した学会参加・発表
学会発表 47 題、論文 6 編（2017 年 9 月～2018 年 8 月）
- ・横ラインメンバーによる業績支援
- ・森ノ宮医療大学の工藤研究室と超音波を中心とした共同研究

スポーツ 外部活動

- ・野球：読売ジャイアンツ、信濃グランセローズ、東京大学硬式野球部、早稲田大学硬式野球部、二子玉川スポーツ少年団野球部、上田南リトルシニア野球部
- ・体操：コナミスポーツクラブ体操競技部、日本女子体育大学新体操部、埼玉栄高校男子体操部、伊那西高校新体操部、鶴見ジュニア体操クラブ
- ・サッカー：AC 長野パルセイロ(J3)、長野日本大学高校サッカー部
- ・バスケットボール：信州ブレイブウォリアーズ、明治大学女子バスケットボール部
- ・陸上：東洋大学陸上部（女子長距離部門）
- ・その他：明治大学アイスホッケー部、東京都市大学アメリカンフットボール部
長野日本大学高校バドミントン部
長野県国体チーム（スキー・アイスホッケー・バスケットボール）
- ・学校事業：障害予防相談・指導、姿勢改善教室

入職からの将来ビジョン

入職

運動器リハビリテーションが好きでクリニックで様々な患者さんの治療を経験したい。

臨床で基礎を学んだら自分の専門性を作って研究をしたい。その領域の日本のリーダーの一人になりたい。

基礎を学んだらスポーツ現場で選手のサポートをしたい。現場でしか学べないスキルを磨き、一流のトレーナーとして活動したい。

臨床をしながらアレックスのリハビリテーションをまとめていきたい。次のアレックスを背負う若い人の教育をして法人全体のレベルアップを図りたい。

臨床

臨床 + 研究 : ①

臨床 + スポーツ
外部活動 : ②

臨床 + 管理職 : ③

① 臨床 + 研究

自分の研究の方向性を決め、臨床で実力をつけていながら専門性を磨いて研究も行う。

- ・ 部位を決め横ラインに所属
- ・ 例えば森ノ宮医療大学
工藤研究室の研究員に所属

Status

研修費からの
学会・研修会補助

横ライン
特別手当

PT グレード別
資格手当

② 臨床 + スポーツ 外部活動

医師や先輩 PT が帯同するスポーツ現場と一緒にいき学習。
徐々に自分の関わっていくチームやスポーツ現場を作っていく。

- ・ スポーツ (種目) を決め
横ラインに所属
- ・ チームや近隣の学校に直接的、
間接的に関わっていく

Status

サポート選手
受診に対する
インセンティブ

横ライン
特別手当

PT グレード別
資格手当

③ 臨床 + 管理職

施設のリハビリテーション科をまとめる主任、法人のリハビリテーション部門をまとめる専門部長、施設全体をまとめる管理部長をめざす。

- 【主任】クリニック内での管理能力
の養成
- 【部長】本部の指導・教育で擁立

Status

主任手当

部長給与
年俸制

PT グレード別
資格手当

私たちアレックスで専門性を高めて活躍している理学療法士

瀧北 渚 2018年資格取得（1年目）



私は腰に特化した理学療法士を目指しアレックス脊椎クリニックで働いています。初めての臨床で不安もありましたが、アレックスは入職当初から研修会や勉強会が豊富で、自信を持って治療にあたる事が出来るようになりました。森ノ宮医療大学の工藤慎太郎先生が定期的に臨床指導に来てくださるので、臨床での疑問点に対し直接アドバイスを頂くとともに、超音波を用いたアプローチ方法をご教示頂いています。このようなとても恵まれた環境で仕事が出来ることにとっても感謝しています。また、先日は学術大会に初めて参加し、多くの事を学ばせて頂きました。私も日々の臨床で感じた疑問や学んだことを活かして学術大会での発表を目指し、充実した日々を送ってまいります。

青柳 努 2015年資格取得（4年目）



私はAR-Ex 尾山台整形外科で理学療法士として働いています。臨床の中で、患者さんが痛みを訴える部位にはなにがあるのか、自分は今の組織を触っているのかと疑問を持ち、超音波診断装置の使い方、組織の見方を学び始めました。実際に、超音波と理学療法を組み合わせることで、患者さんへのフィードバックにもなり信頼関係も築きやすいと実感しています。現在は、工藤慎太郎先生と共に慢性足関節不安定症に関する研究を行っています。是非一緒に臨床の疑問を解明しましょう！

金井 陽太郎 2015年資格取得（4年目）



私は長野整形外科クリニックでの日々の臨床以外に、スポーツ現場や地域でも活動しています。高校のサッカー部、中学校のバレーボール部でのトレーナー活動や長野市のサッカー協会と連携して大会会場にトレーナーブースを設置して救護活動を行っています。他にも近隣小学校の健康増進活動としてオリジナル体操の作成・指導も行っていきます。地域密着型クリニックのスタッフとして、日々の臨床の経験を生かし幅広く活動ができ、とても充実した日々を送っています。

松岡 佑紀 2015年資格取得（4年目）



私は長野整形外科クリニックで理学療法士として働いています。施設ではスポーツ・難治性疼痛外来を立ち上げ、従来の保存療法で治らない患者さんに対して体外衝撃波という機器を用いて治療を行っています。体外衝撃波治療器は近年整形外科領域で普及し始めたため、まだまだ治療のエビデンスは確立されていません。どのような所見がある方に効果的かがわかれば今よりも治療効果を高めることができると思い、データの収集を行っています。また、体外衝撃波治療後のリハビリを確立させるべく日々勉強しています。少しでも興味のある方！一緒に勉強して体外衝撃波治療の最前線を目指しましょう！

多田 智頭 2013年資格取得（6年目）



さいたま整形外科クリニックでの臨床業務と、教育、研究リーダー（横ラインメンバー）として活動しています。理学療法士としてスキルを高めるためには、臨床・教育・研究が重要だと思います。この3つをバランスよく活動していきたいと考える人にはアレックスグループのシステムはよい環境だと感じています。整形外科理学療法に興味を持つ人には勉強になると思います。僕らと一緒に理学療法士としてスキルアップしていきませんか？

勝又 佑奈 2012年資格取得（7年目）



都立大整形外科クリニックで臨床業務とリハビリ科リーダー、後輩育成を行なっています。私が臨床で大切にしていることは、挨拶・知識技術の研鑽・共感です。これは学生時代から指導されていることですが、それにより通院された患者さんからご友人や知人の方を信頼して紹介して頂いております。患者さん多くの笑顔を見ることが出来て、嬉しいのと同時に理学療法士としてより一層の努力をしなければと思います。一般整形、スポーツ整形を勉強したいと考えている方、ぜひAR-Exと一緒に働きましょう。

小林 久文 2006年資格取得（13年目）



私は本部に所属し財務を担当しています。臨床を経験していく中で一体自分は病院にとってどれ位の価値があるのか？と疑問に思い点数を計算してみたのが経営に興味を持ちはじめた最初のきっかけです。現在は主に事業計画や予算作成など携わっていますが、施設で院長先生や部長と話しするときに、数字だけでなく具体的に現場がイメージできる場合があり、以前の臨床での経験が生きていることを感じます。

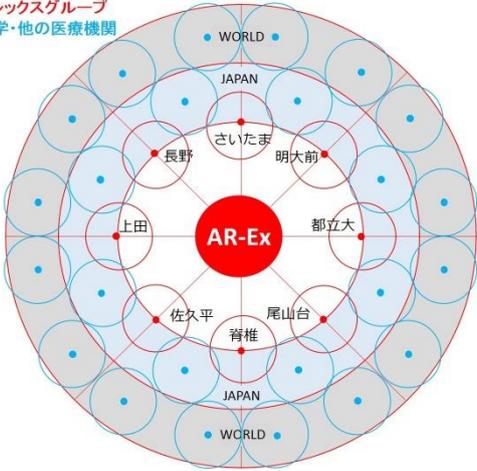
是非一緒にオンリーワンのPTを目指しましょう。

院内システムの紹介

○ネットワークシステム

電子カルテなどのデータ、動画、静止画、音声などの情報をセキュリティの高いネットワークを活用し、どこにいてもリアルタイムで送受信が可能となるシステムを導入しています。専門医による診察や指導、また術前カンファレンスや症例検討会や勉強会などに活用しています。

- アレックスグループ
- 大学・他の医療機関



○研修制度

- 学会・研修会への参加費の補助
- 森ノ宮医療大学へ超音波研究研修実施
- 海外でのキャダバートレーニング参加

○外部講師による定期的な臨床指導

- 工藤慎太郎先生（森ノ宮医療大学）
超音波を用いた画像評価
rehabilitative ultrasound imaging(RUSI)

- 成田崇矢先生（健康科学大学）
腰痛・脊椎疾患の評価と治療

○サポートチームの選手の受診に対する評価制度

○新人理学療法士の給与：月給 224,000 円

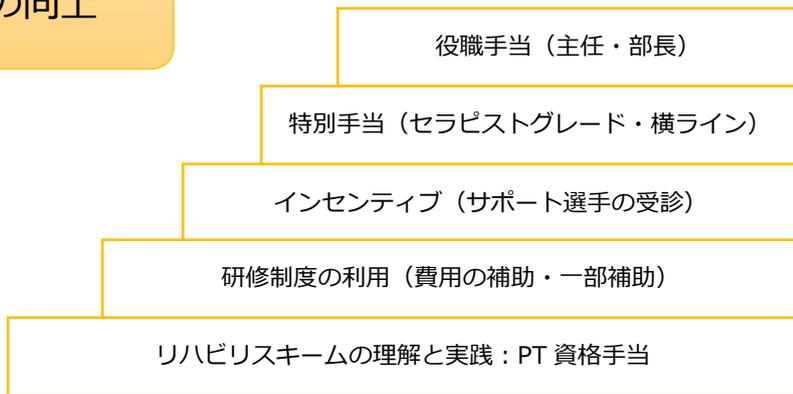
資格手当、地域手当（東京・埼玉 30,000 円）含む

○セラピストグレーディング

資格手当（1年目 57,400 円、4年目 75,000 円～）
グレード毎に定めた業務実績を評価し特別手当支給
※4年目からは個別契約となります

- Grade I：基礎となる治療スキーム・臨床推論を学習する期間（3年間）
- Grade II：治療スキーム・臨床推論の理解と実践
- Grade III：専門的知識や技術の取得が出来ている
- Grade IV：医師の認定、治療のコーディネートが可能
- Grade V：管理・運営・職員評価を実施できる

Status と福利厚生への向上



先輩の指導を受けながら自分の得意な分野、専門分野を見つけていきます。
その分野でステップアップを目指し Status と福利厚生が向上するようにしていきます。

— スポーツ・難治性疼痛外来 —

- 体外衝撃波治療
- PRP 治療
- 超音波ガイド下組織間リリース
- リハビリテーション

トップレベルのスポーツ選手の治療経験を元に、その方法を患者さんに還元していきます。MRI・CT・超音波検査などを用いて痛みの原因を詳細に診断した上で治療を行っていきます。

スポーツ難治性疼痛外来で行っている特殊な治療は、患部の状態を改善するにすぎません。症状を取り除き、再発を防ぐためには原因への対処が必要です。そのためには患部周囲のコンディショニングや患部の組織の状態を改善するリハビリテーションが有効です。



— 関節鏡視下手術 —

関節内に原因のある疾患の多くは、「関節鏡」という内視鏡手術により完治を目指すことが可能です。この手術はとても緻密な作業で、高い技術力を必要としますが、最小の傷で関節内部の障害を治すことができます。また、関節鏡を用いると関節の中を観察できるため、どの部分が傷んでいるのか正確に分かり、術後のリハビリテーションや運動療法を的確に行うことができます。アレックスでは全身の関節鏡視下手術を行い、術後早期よりリハビリテーションを開始し、選手や患者さんの早期復帰を目指しています。

【平成 30 年度年間手術件数 724 件】

— 超音波を用いた画像評価 —

森ノ宮医療大学の工藤慎太郎先生に定期的に臨床指導にお越しいただき、リハビリテーションに生かす超音波画像評価 rehabilitative ultrasound imaging (RUSI) を学んでいます。

臨床指導では超音波を使って筋の滑走、機能障害の評価、エクササイズの効果判定など幅広く指導していただいております。また症例報告会を通して研究活動の指導もしていただき学会発表に向けてのアドバイスもいただいております。



竹内 大樹 2005 年資格取得 (14 年目)

スポーツ傷害や関節疾患の治療において理学療法士の存在は非常に重要かつ、なくてはならない立場となっています。また、近年では整形外科分野において体外衝撃波治療や PRP 治療などに代表されるように多くの新しい治療法が開発されてきており、それは理学療法士にとっても存在意義が見直される大きなチャンスです。職員は探究心も高くそれを満足させる臨床、教育、研究の環境が用意されています。職員一人一人が自分自身の仕事や理学療法士という仕事にやりがいや誇りを感じられる環境、仕事の形を作っていくことを念頭に置いた様々な環境整備をしております。私たちの考えや活動に共感していただけましたら幸いです。患者さんや選手のために一緒に研鑽していきましょう！



医療法人アレックス

〒385-0022
長野県佐久市岩村田 1109-4
TEL : 0267-66-7130
<https://ar-ex.jp/>



ご質問やお問い合わせは
お気軽にご連絡下さい。
担当：兼子 昌幸
E-mail : jinji@ar-ex.jp